

# 東京ベイエリアに木構造のランドマーク

## 豊洲ぐるり公園パークレストラン

物林・ティンバースケープ



完成した江東区初の準耐火木造建築物の豊洲ぐるり公園パークレストラン正面

東京・江東区の豊洲ふ頭公園（通称豊洲ぐるりパーク）内に、木質二方向ラーメン構造による準耐火大型木造2階建て建築物が完成し、1日、当地で竣工式が開かれた。都市木造・木質化が木材需要の喫緊の課題とされているが、東京都内でも人口が多い江東区で同建築物は初めて。

この建物は「豊洲ぐるり公園パークレストラン」。正面にレインボーブリッジを望み、レストランと結婚式場など多目的に利用されるチャペル空間を演出した建築物（延べ床面積2588・65平方メートル）。物林（東京都、淡中克己社長）、JKホールディングス（同、青木慶一郎社長）ほか2社が豊洲パークマネジメントJVを構成し、江東区から同公園の管理業務を（10年間契約）請け負うもの。この建物の施工は物林（東京都、で、レストラン運営を

挙式・披露宴運営企画会社アイ・ケイ・ケイ（佐賀県伊万里市。村田裕紀社長）が担当する。施工は物林の子会社ティンバースケープ（東京都、梶井直

和社長）、設計はジビキデザイン（同、地引重巳代表取締役）。建設地が埋め立て地であることから木造による軽量化を図り、不動産沈下を回避するため地業工事や基礎工事の

コスト削減が可能となった。また、別棟解釈で準耐火構造は60分とし、カフェ棟の袖壁部は耐火構造とした。準耐火構造部分は1000平方メートル以下とした。構造で柱梁は北海道産カラ松構造用集成材、ブレースは10ミ

ン構造（SMB建材のサミットHR工法）が採用され、天井部は木格子組となり、室内からその面影を知ることができる。また、建

物全体が純白で彩ら

「江東区は木の街が原に取込み、日本一の都市公園を目指したい」と述べた。

竣工式で淡中社長は「江東区は木の街が原に取込み、日本一の都市公園を目指したい」と述べた。

準耐火で木造建築物を建てることできて望外の喜びだ。公園と木構造を今後の事業の柱に取込み、日本一の都市公園を目指したい」と述べた。